

令和3年度（福）ふじみ野福祉会 事業報告

令和3年度、法人事務局においては、4回の理事会、3回の評議員会を開催し様々な議案を審議しました。議案の1つとして、職員の処遇を改善するために介護職員処遇改善支援補助金を申請し、介護職員処遇改善支援補助金手当及び介護職員処遇改善支援補助金手当に準拠した法人単独手当を支給することとしました。新規整備事業について継続的検討を実施しました。

管理課においては、会計ソフト及び給与ソフト並びにグループウェアをクラウド化し、業務の効率化を図りました。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底するために、2週間おきに職員全員にPCR検査を実施しました。また、新型コロナウイルスワクチンを職員及び特養入所者に3回接種することにより感染予防に努めました。

生活課においては、オンラインや窓越しによる面会、長寿を祝う会やもちつき行事を行い、入所者様に喜んでいただきました。

地域課においては、デイサービスではご利用者の体調管理を把握し、休業せずに通常営業をおこないました。ヘルパーにおいては訪問時の検温やマスク着用を徹底しサービス提供を行っています。居宅・包括では医療機関との連携し、より良い支援体制づくりを行いました。

地域支援課においては、特養ではユニットケアに向けて職員を固定配置し、小多機では食事や創作レクリエーションを実施しました。居宅・包括では地域課同様に医療機関との連携を行いました。

栄養課においては、各月に行事食を提供し利用者に喜んでいただきました。

法人事務局、各課が実施した事業について以下に報告します。

1 事務局

総合目標

・全事業が安定的に運営できるよう法人全体の課題解決に取り組めます。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 大規模修繕の検討	① 中長期建物保全計画を基に大規模修繕の検討を行い、入れ替えが必要な物品は都度入れ替えました。
(2) 介護現場の生産性向上	① 地域密着型特養にみまもりセンサーを導入し、業務の効率化を図りました。 ② オンライン化を積極的に行い、会議等は非対面で行いました。
(3) 新規事業の検討	① 高齢者保健福祉計画の進捗を踏まえ、継続して検討を行いました。
(4) 役員会等	① 監事監査 令和2年度の理事の職務の執行についての監査 ② 理事会 ○第1回 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 2. 社会福祉施設指導監査（書面監査）の結果について

議 案

1. 令和2年度事業報告及び決算報告について
2. 評議員選任・解任委員の選任（案）について
3. 評議員候補者の選任（案）について
4. 役員（理事・監事）候補者の選任（案）について
5. 評議員選任・解任委員会の招集（案）について
6. 評議員会の招集（案）について

○第2回

議 案

1. 理事長の選定について
2. 評議員選任・解任委員の選任について

○第3回

報告事項

1. 理事長の職務の執行状況について

議 案

1. （仮称）グループホームふじみの整備計画（案）について
2. 特定介護職員等処遇改善手当月額変更（案）について
3. 特定職員処遇改善法人単独手当月額変更（案）について
4. 第1次補正予算書（案）について
5. 福祉車両の入札（案）について

むさしの

6. スチームコンベクションオープンの入札（案）について

むさしの

7. LPガス貯槽タンク取替工事の入札（案）について

むさしの

8. 評議員会の招集（案）について

○第4回

報告事項

1. 指定地域密着型介護サービス事業所に係る実地指導結果について
2. 居宅介護支援事業所の実地指導及びケアプラン点検の結果について
3. 第1号通所事業に係る書面指導結果について
4. 養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する事実確認の結果について

議 案

1. 第2次補正予算書（案）について
2. 福祉車両の入札結果について むさしの
3. スチームコンベクションオープンの入札結果について むさしの
4. LPガス貯槽タンク取替工事の入札結果について むさしの
5. 福祉車両のリース契約締結（案）について
6. スチームコンベクションオープンのリース契約締結（案）について
7. 介護職員等特定処遇改善手当支給（案）について
8. 特定職員処遇改善法人単独手当支給（案）について
9. 介護職員処遇改善支援補助金手当（案）について
10. 特定職員処遇改善支援法人単独手当（案）について
11. (福)ふじみ野福社会 業務評価制度規程（案）について
12. 業務評価制度の手引き（案）について
13. (福)ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について
14. (福)ふじみ野福社会 就業規則一部改正（案）について
15. (福)ふじみ野福社会 再雇用職員就業規則一部改正（案）について
16. 令和4年度事業計画並びに予算書（案）について
17. 施設長並びに理事の辞任について（案）について
18. 施設長並びに理事候補者の選定（案）について
19. 評議員会の招集（案）について

③ 評議委員会

○第1回

報告事項

1. 理事長の職務の執行状況について
2. 社会福祉施設指導監査（書面監査）の結果について

議 案

1. 令和2年度事業報告及び決算報告について
2. 役員（理事・監事）の選任について

○第2回

報告事項

1. 理事長の職務の執行状況について

議 案

1. (仮称)グループホームふじみの整備計画（案）について
2. 特定介護職員等処遇改善手当月額変更（案）について
3. 特定職員処遇改善法人単独手当月額変更（案）について

4. 第1次補正予算書（案）について
5. 福祉車両の入札（案）について
むさしの
6. スチームコンベクションオープンの入札（案）について
むさしの
7. LPガス貯槽タンク取替工事の入札（案）について
むさしの

○第3回

報告事項

1. 指定地域密着型介護サービス事業所に係る実地指導結果について
2. 居宅介護支援事業所の実地指導及びケアプラン点検の結果について
3. 第1号通所事業に係る書面指導結果について
4. 養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する事実確認の結果について

議 案

1. 第2次補正予算書（案）について
2. 福祉車両の入札結果について むさしの
3. スチームコンベクションオープンの入札結果について むさしの
4. LPガス貯槽タンク取替工事の入札結果について むさしの
5. 福祉車両のリース契約締結（案）について
6. スチームコンベクションオープンのリース契約締結（案）について
7. 介護職員等特定処遇改善手当支給（案）について
8. 特定職員処遇改善法人単 hands 支給（案）について
9. 介護職員処遇改善支援補助金手当（案）について
10. 特定職員処遇改善支援法人単 hands 手当（案）について
11. (福)ふじみ野福社会 業務評価制度規程（案）について
12. 業務評価制度の手引き（案）について
13. (福)ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について
14. 令和4年度事業計画並びに予算書（案）について
15. 施設長並びに理事の辞任について（案）について
16. 施設長並びに理事の選任（案）について

2 管理課

総合目標及び課題

- ・職員が安心して働けるような職場環境を整備します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 職員確保及び定着	① OJT や各会議を利用し、職員育成を行うと共に定着化に努めました。
(2) 業務効率の向上	① システムのクラウド化を実施し、業務効率向上に努めました。 ② サービス開始時に利用料の口座振替を依頼し、効率的な回収に努めました。
(3) 職場環境の整備	① より働きやすい職場を目指し、職員に対する規則の周知を行いました。 ② 業務が円滑に行えるよう、備品管理や修繕、入替を行いました。

委員会

・研修委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 職員育成	① 年度別研修に基づき、計画的に内部研修を行いました。 ② 職種別研修を検討しましたが、プログラムに加えるまでには至りませんでした。
(2) 階層別研修	① グループワークを通じ、コミュニケーションを図りながら職員間の合意形成を図ることを目的に、課長管理者研修は業務評価規程を見直し、リーダー研修は包括の専門職員を講師とし、対人援助職者について学びました。

・広報委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) HP の定期更新	① ブログを活用しご利用者様の生活やイベントの様子について情報発信を行いました。 ② 現場の人員状況を反映した採用情報を掲載し、積極的な採用活動へ繋げるよう努めました。



福 1 3 回埼玉県高齢者福祉研究大会・埼玉県 作業員 参加しました

第 1 3 回埼玉県高齢者福祉研究大会・埼玉県入居者創作 画展に参加しました

<p>(2) 広報誌の充実</p>	<p>① 写真主体のレイアウトでご利用者様の様子を視覚的に伝える広報作成を行いました。</p> <p>② 季節感を取り入れた配色で彩り豊かかつ見やすい広報誌作成に努めました。</p> 
-------------------	---

・防災委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
<p>(1) 訓練の実施</p>	<p>① 消防計画をもとに、法人全体で訓練を実施しました。</p> 
<p>(2) 防災器具点検</p>	<p>① 防災器具の不備等については設備会社と相談し、メンテナンスに努めました。</p>

・衛生委員会

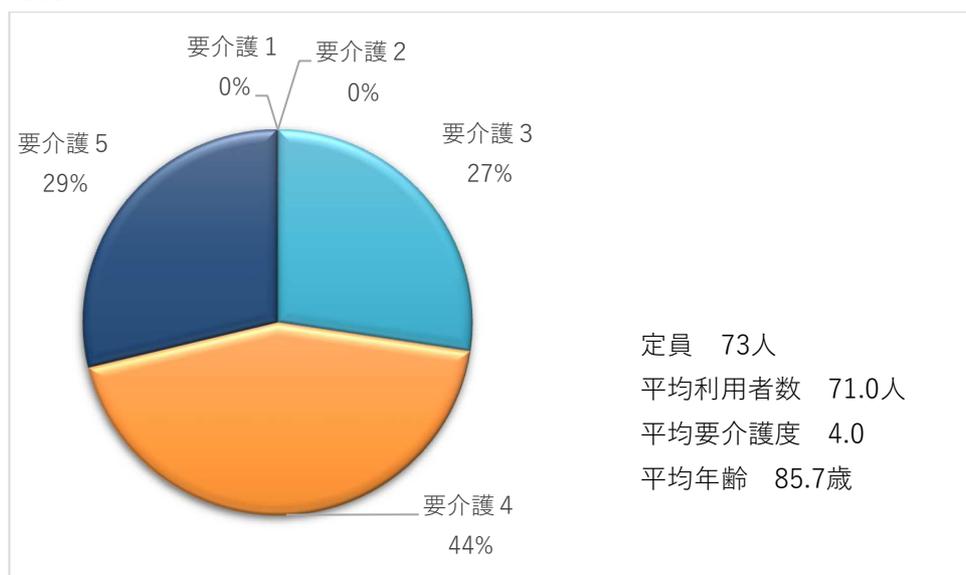
重点目標及び課題	具体的取組み
<p>(1) 感染症対策</p>	<p>① 新型コロナウイルスに関する情報を中心に、感染症に関する情報を共有し、感染予防に努めました。</p>
<p>(2) 健康管理</p>	<p>① 産業医と連携を密にし、職員の健康維持管理に努めました。</p>

3 生活課

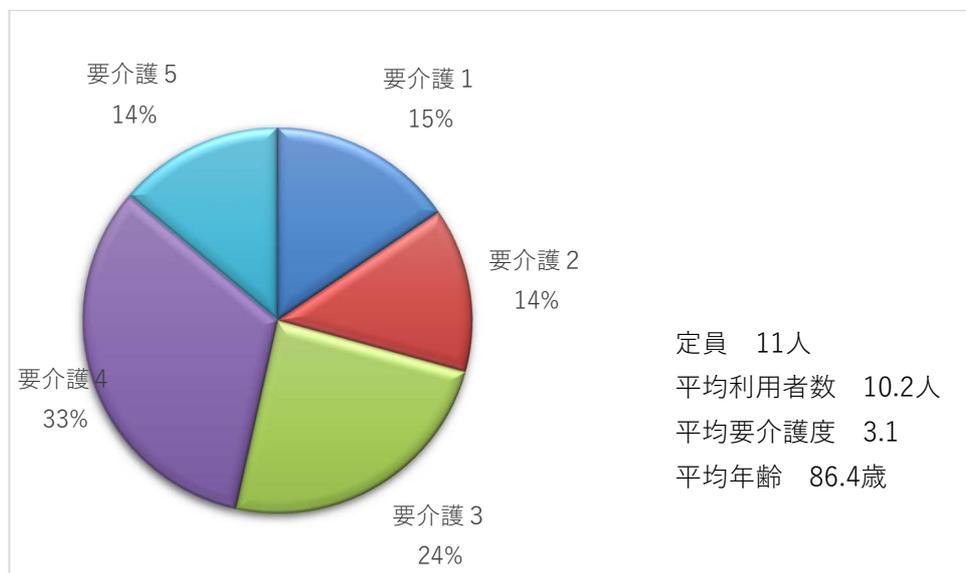
総合目標及び課題

- ・丁寧な接遇で思いやりのある介護サービスを提供します。
- ・職種間連携を強化し、ケアの統一や資質向上に努めます。

特養



ショート



介護

重点目標及び課題	具体的取組み																								
(1) 待遇と利用者への対応 (2) ケア方法の検討 (3) 余暇活動、行事内容の充実	① 介護職員の目標成果シート内に待遇についての項目を入れ、待遇についての意識付けを行うことができました。より一層、丁寧なケアや接遇を意識して取り組んでいきます。 ② 日々の利用者とのコミュニケーションを図る際、基本的な対応以外にもボディランゲージ等を用いた対応ができました。 ① フロア会議をなるべく多くの職員が参加できる日時・時間に変更し、有効的な話し合いができました。 ② リーダー・フロア会議の会議録を介護職員が閲覧できるようにし、ケア方法の統一を図ることができました。 ① コロナ禍もあり、なかなか実現することができませんでしたが、できる限り利用者のニーズを把握するよう心掛けました。 ② 上記同様、なかなか実施が難しかったですが、食事行事（食事委員会主導）を企画し、楽しみのある時間を提供することができました。																								
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>																								
(4) 年間諸行事	<実施行事> (行事) <table border="1" data-bbox="437 1435 1474 2018"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>予定行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>お花見行事（行事食）</td> <td>令和3年3月30日（火）・31日（水）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おやつ行事（パフェ）</td> <td>4月22日（木）・24日（土）</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>端午の節句</td> <td>5月5日（水）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おやつ行事（パフェ）</td> <td>5月12日（水）・21日（金）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>端午の節句（行事食）</td> <td>5月5日（水）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>菖蒲湯</td> <td>5月5日（水）～5月9日（日）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うなぎ（行事食）</td> <td>5月31日（月）</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	予定行事	実施日	4月	お花見行事（行事食）	令和3年3月30日（火）・31日（水）		おやつ行事（パフェ）	4月22日（木）・24日（土）	5月	端午の節句	5月5日（水）		おやつ行事（パフェ）	5月12日（水）・21日（金）		端午の節句（行事食）	5月5日（水）		菖蒲湯	5月5日（水）～5月9日（日）		うなぎ（行事食）	5月31日（月）
実施月	予定行事	実施日																							
4月	お花見行事（行事食）	令和3年3月30日（火）・31日（水）																							
	おやつ行事（パフェ）	4月22日（木）・24日（土）																							
5月	端午の節句	5月5日（水）																							
	おやつ行事（パフェ）	5月12日（水）・21日（金）																							
	端午の節句（行事食）	5月5日（水）																							
	菖蒲湯	5月5日（水）～5月9日（日）																							
	うなぎ（行事食）	5月31日（月）																							

	6月	おやつ行事（パフェ）	6月15日（火）・6月29日（火）
		入梅弁当（行事食）	6月23日（水）
	7月	七夕行事	7月7日（水）
		七夕行事（行事食）	7月7日（水）
		土用の丑の日（行事食）	7月28日（水）
	8月	ちらし寿司（行事食）	8月5日（木）
		いなり寿司（行事食）	8月25日（水）
	9月	唐揚げ弁当（行事食）	9月8日（水）
		長寿を祝う会	9月15日（水）
		長寿を祝う会（行事食）	9月15日（水）
	10月	ちらし寿司（行事食）	10月6日（水）
		お寿司（行事食）	10月19日（火）
	11月	唐揚げ弁当（行事食）	11月9日（火）
		中華弁当（行事食）	11月30日（火）
	12月	もちつき行事	12月15日（水）
		冬至（ゆず湯）	12月20日（月）～22日（水）
		クリスマス（行事食）	12月24日（金）
	1月	お正月（行事食）	1月1日（土）
		新年会（行事食）	1月12日（水）
		お寿司（行事食）	1月27日（木）
	2月	節分行事	2月3日（木）
		オムライス弁当（行事食）	2月8日（火）
		鶏尽くし弁当（行事食）	2月22日（火）
		鍋行事（行事食）	2月7日（月）・10日（木）・14日（月）・15日（火）・17日（木）・23日（水）
	3月	雛祭り行事	3月3日（木）
		雛祭り行事（行事食）	3月3日（木）
		のり弁当（行事食）	3月29日（火）

看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 利用者の健康管理、異常時の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者全員の既往や内服薬の把握には至っていないため、来年度も継続して行っていくます。 ② 異常時の判断について看護師間での意識統一が不十分だったため、医務会議内で共有し来年度も継続して行っていくます。
(2) 委員会、会議への参加	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月出席することにより、介護職員との情報共有を強化することができました。 ② 内服薬や利用者の病状についてアドバイスをを行い、早期受診等に繋げることができました。
(3) 感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的な感染対策を行いました。今後も気を緩めずしっかりと感染対策を行っていきます。 ② 日々、更新される情報を確認し、テレビやネット等からも積極的に新しい情報を得る努力をしました。今後も具体的な対策を提供していきます。

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 各フロア(2F・3F)で機能訓練が行える環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ① 2F ステーション前に平行棒を設置したことにより、リハビリ内容の幅を広げることができました。 ② 機能訓練としてのリハビリ以外にレクリエーションの中で運動が行えるようにし、プログラムの中に取り入れました。
(2) リハビリに関するケアの方法の確認	<ul style="list-style-type: none"> ① 全てのCW とは行えませんでした、数名のCW と再確認を行いました、基本となる介助法の資料を作成しました。 ② CW 個々に合わせた介助法を検討することはできませんでしたが、機能訓練をご利用されている方の動作介助法をCW に依頼することでADL 向上につながられました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 円滑な入所に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 随時、入所相談を実施しました。重要事項説明書を用いて、希望されるご家族やご本人の不安要素を丁寧に説明し対応しました。また、コロナ渦にて施設内の説明に対して希望があればオンラインを使用し施設内の雰囲気や居室等を説明しました。 ② 緊急での入所（措置入所）等の受け入れはありませんでした。しかし、市役所や関係機関からの問い合わせや相談などは年に数件あり、丁寧に説明し、受け入れ態勢は整えています。

<p>(2) 看取り介護支援の取り組み</p>	<p>① 医師の指示のもと医療的治療が難しいと診断があった際にはご家族へ必要な情報提供を実施しました。看取り介護を希望された際は指針をもとに説明・同意を得た上で医師を中心に各職種と協働して看取り介護を実施しました。</p> <p>② コロナ渦において蔓延防止の観点に立ちながら、希望を伺ったうえで居室を個室に変更し感染対策実施の上、安心して面会ができるよう柔軟に対応しました。面会時間の緩和なども対応しました。</p> <p>③ 短期入所生活介護利用者の看取り介護希望者はおりませんでした。以前に比べて、医療的配慮を有する方の利用が増加しています。薬（麻薬等管理）や訪問診療や訪問看護からの医療的指示（処置等）を協働で対応しました。</p>
<p>(3) 稼働率維持・向上に向けた取り組み</p>	<p>① 年間特養入所稼働率 95.2%となりました。目標値に対して-2.3%減となり目標到達には至りませんでした。低下要因として入院者及び入院日数の増加と空床期間の増加が挙げられます。入院延べ日数は 686 日。昨年度比 24 日間の増加。平均入院日数 20.2 日。1 日平均入院者数は 1.9 人となっています。</p> <p>また、本入所者の空床については退所者 26 名となり、昨年度比で 4 名・325 日間の増加となりました。平均空床期間は 21 日間でした。空床期間の大幅増が特養稼働率目標未到達と考えられます。新型コロナウイルス感染症の蔓延にて入所前の確認等に時間を要してしまったこと及び入所待機者の安定確保に欠けたことも挙げられます。引き続き、空床期間減少が課題となります。</p> <p>② 年間 SS 利用稼働率 93.1%となりました。昨年度比で 2.4%の増加となっており目標値到達しました。新規利用者は 32 名の受入れを実施。増加要因としては、定期利用者の安定利用及び長期利用者の随時受け入れが挙げられます。居宅介護支援事業所には毎月空床情報を発行し、情報発信を積極的に行いました。今後は居室コントロールを生かし、随時、空床案内を実施していきます。</p> <p>③ 月 1 回の入所検討員会を実施しました。優先入所指針に沿って安定確保を実施しました。</p>
<p>(4) 利用者の質の向上とケアプランの作成</p>	<p>① 利用者の自立支援に基づいたケアプラン作成に対して、各セクション協働に情報収集や利益あるケアプラン作成において未実施な部分がありました。介護支援専門員を中心に協働での継続的作成が課題となります。</p> <p>② アセスメント実施に関して、個々での情報収集になってしまいケアカンファレンス自体の体制が不安定になっています。また、ご本人やご家族への合意や説明に時間を要してしまいました。介護支援専門員や各セクション協働での継続的なケアカンファレンスが課題となりました。</p>

・生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスに繋ぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が霜害されている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 担当相談員の配置並びに相談活動	① 2名の相談員を配置し、地域の生活困窮者に対する課題の解決に努めました。社会福祉協議会の生活困窮者担当支援員の方との支援相談やあんしんセーフティネット事業での課題解決への相談は継続的に受入れ体制を整えています。
(2) 経済的援助	① 令和3年度は相談や経済的支援の実績はありませんでした。コロナ渦において、特別給付金の助成などを実施されたことで、緊急性のある方も含めて支援相談はありませんでした。今後も援助を必要とされる方への支援及び相談があった場合は施設長への報告を迅速に行っていきます。
(3) 研修会への参加	<p>① 令和3年7月13日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 社会貢献活動推進連絡会議 <p>令和3年8月10日 彩の国あんしんセーフティネット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回ブロック会議・研修（第2・第3ブロック） ・コロナ渦における推進協議会の取り組みと支援システム改修について ・実践報告 ・意見交換 <p>令和4年2月1日 彩の国あんしんセーフティネット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回ブロック会議・研修（第1・第2ブロック） ・報告事項 ・自立相談支援事業の概要（動画） ・実践報告 <p>② 令和3年5月21日～令和3年6月11日 Webでの動画配信にて 6月1日・6月4日 オンラインにて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩の国あんしんセーフティネット事業担当者相談員養成研修に参加 <p>令和3年11月19日～12月2日 Webによるオンライン研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員専門研修 令和3年度生活保護制度入門研修 ～生活困窮者を支援する時に知っておきたい制度の基本～

	<p>令和4年3月4日 Webによるオンライン研修</p> <p>・彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員専門研修 ～セーフティネット事業に求められるCSWの視点～ 実践報告</p> <p>彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員専門研修に参加しました。 彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員として、現物給付のあり方等について、他制度、他事業による支援方策について情報共有することを目的に参加しました。</p>
--	--

委員会

・安全委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 事故予防、削減に向けた対策強化	<p>① フロア会議、委員会などで再発防止のための検討を行い、また情報を共有することによって、ヒヤリハット防止に努めることができました。</p> <p>② ヒヤリハット発生時には、その都度出勤職員（他セクション職員も含む）によるカンファレンスを実施し、迅速に対応策の検討・周知を行いました。</p>
(2) 事故の周知	<p>① 骨折などが起きた際、各階毎で職員が集まり防止対策を考え、周知を行うことにより、事故防止への意識を高めることができました。</p>
(3) 除圧マット・離床センサーの見直し	<p>① 離床センサーの不足などもあったため、リーダー会議等で話し合い、離床センサーの必要性を再検討し、利用者個々にあった離床センサーの使用を行うことができました。</p> <p>② 定期的に作動の確認を行うと共に、離床センサーの電源の確認（離床時に反応するか等）を職員に周知し、機械トラブル防止に努めました。</p>

・排泄委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 排泄に関する知識及び技術向上と標準化	<p>① 前期・後期と白十字社のご協力の元、研修を開催し、排泄介助についての知識や理解を深めることができました。</p> <p>② 各フロアで適宜アンケートを実施し、現況把握に努めました。内容をもとに業務改善に繋げることができました。</p>
(2) 個人ニーズに沿った統一した排泄介助の提供	<p>① 看護職・リハビリ職と共に皮膚の状態や身体機能の変化に応じて、適宜必要な排泄の方法を検討し、実施することができました。</p> <p>② 声掛けのタイミングや誘導の方法など、個別に検討をし、全職員が統一したケアができるよう周知しました。</p>

・入浴委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症の防止・対策の実施	① 各浴室に消毒液を設置し、手指消毒の徹底に努めました。 ② 感染症対策でマスクを着用しての入浴介助が定着しました。
(2) 利用者のADL、健康状態に合わせた入浴介助	① 利用者のADLに合わせた入浴ができるよう、必要に応じて入浴形態を変更しました。 ② 2か月に1度の委員会で評価・見直しを行い、安全な入浴が確保できるよう努めました。

・食事委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 誤嚥予防	① フロア会議などにて利用者個々に合った食事形態の検討を行いました。また緊急性がある場合には、その都度、現場職員・他セクション職員（看護師・管理栄養士・相談員）と協議し、食事形態変更を行いました。 ② 食事姿勢等の見直しを行い周知しましたが、職員によってバラつきがあり、課題が残りました。周知方法を再検討し、来年度は統一した介助を行えるよう努めます。
(2) 四季を感じてもらえるような食事の提供	① 今年度は2回（おやつ行事・鍋行事）企画・実施をしました。目標としていた企画ができなかったため、来年度は利用者に季節感を感じてもらい、より楽しんでいただけるような企画をしていきたいと思えます。

・整容委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症予防	① 毎週土曜日に次亜塩素酸を新しい物に交換し、また朝食後・昼食後などに手すり・ドアノブの消毒を行いました。 ② 定時（9:00・11:00・13:00・15:00）以外にも適宜換気を行い、感染予防に努めました。 ③ 新入職者には携帯用ボトルを配布し、実施方法の周知を行いました。引き続き、1ケア1消毒の徹底をしていきます。
(2) 快適な環境作り	① 衣替えの時季にはフロア会議等で職員に周知し、担当職員に衣替え及び整理整頓を依頼し、実施できました。 ② カトリスのリキッドの残量の確認を適宜行い、また在庫についても確認し、快適な環境整備に努めました。
(3) リネン伝票の記入方法の周知	① マニュアルを作成し、職員に配布・周知を行い、伝票漏れがないように努めました。

・身体拘束廃止に向けた検討委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護施設の身体拘束とは何か、を周知徹底する	<p>① 動画での研修を実施するも、全職員が理解できるところまでには至りませんでした。問題形式での理解度・基準点など継続的に実施していくことを来年度の課題とし、取り組んでいきます。</p> <p>② ベッド柵の検討などは、個々の居室担当単位となっており、委員会自体での把握等行えませんでした。来年度に改めて実施していきます。</p>
(2) 不適切なケアの対策を考える	<p>① 不適切ケアの事実認定に至る事象が発生してしまいました。職員の間で何が問題であったかの共通認識不足と感じています。来年度は職員全体の問題として継続的に研修及び話し合う場を設けていきます。</p> <p>② 不適切ケアの事実認定に伴い、改めて認識共有及び研修を実施しています。来年度に向け、委員会構成メンバーを現場職員も追加し意識醸成に努めていきます。</p> <p>③ 不適切ケアについての意識やチェック体制に課題が残りました。身体拘束廃止検討及び高齢者虐待防止を念頭に、不適切ケア防止のチェック体制と指導を強化していきます。</p>

・介護ロボット委員会

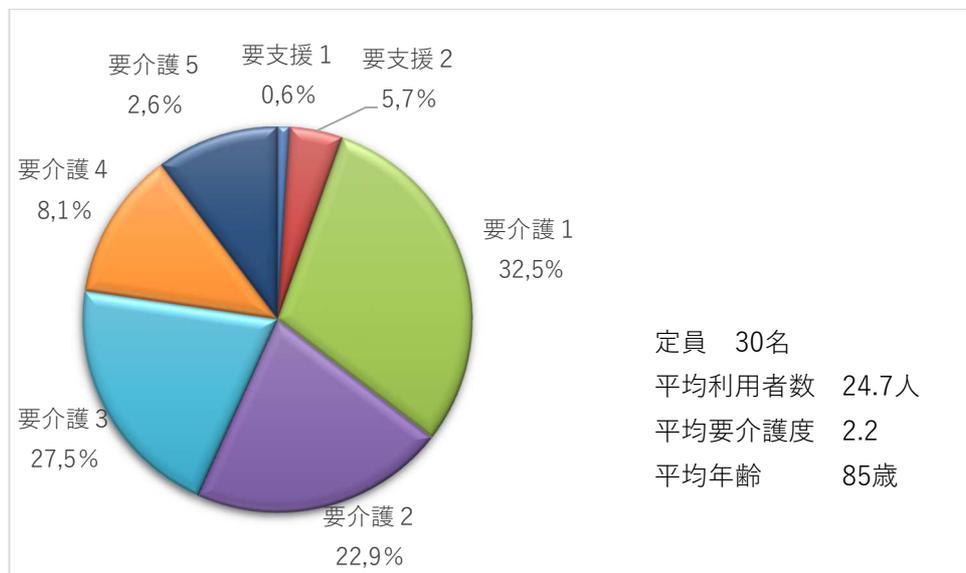
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護ロボットの利活用	<p>① 活用によるメリットの周知ができず、使用に対しての課題が多く残りました。今後の活用方法・普及に向けての対策を検討していきます。</p> <p>② 使用者減少により、効果測定の実施はできませんでした。まずは、活用普及に向けた取り組みを行っていきます。</p> <p>③ コロナ禍の影響もあり、パートナー企業との連携が難しく、体験会を開催するまでには至りませんでした。活用普及に向けて委員会独自の体験会プログラムを検討していきます。</p>

4 地域課

総合目標及び課題

・各事業のサービスを利用することにより、本人の生きがいやご家族の介護負担軽減、医療ニーズがあっても在宅生活の継続が出来るように地域ニーズとして必要とされる役割を果たします。

デイサービスセンター



重点目標及び課題	具体的取組み																		
(1) 介護	<p>① 職員の間人関係を意識した職場環境づくりを実施しました。新職の職員にはOJTを活用し、標準化した指導が出来るようにしました。</p> <p>② 入浴においては状態に応じてリフト浴で対応、排泄はトイレでの実施が出来るように支援、食事においてはそれぞれに合わせた食事形態にて提供しました。</p> <p>③ 多くの方に参加してもらえるように声をかけ、個別では散歩や体操などの「運動」、園芸などの「趣味」をおこない、身体機能の向上や脳の活性化を促しました。</p> <p>④ 職員で事故やヒヤリハット報告について原因を検討し、防止策について会議等で話し合いました。感染症については法令を遵守し、県や市への報告を実施しました。</p> <p><年間行事計画></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>行事内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>ホットプレート行事</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>お茶会行事</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>紙芝居行事</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>ビアガーデン&バーベキュー行事</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>カフェ行事</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>長寿を祝う会行事</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>ハロウィン秋祭り行事</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>焼き芋行事</td> </tr> </tbody> </table>	日程	行事内容	4月	ホットプレート行事	5月	お茶会行事	6月	紙芝居行事	7月	ビアガーデン&バーベキュー行事	8月	カフェ行事	9月	長寿を祝う会行事	10月	ハロウィン秋祭り行事	11月	焼き芋行事
日程	行事内容																		
4月	ホットプレート行事																		
5月	お茶会行事																		
6月	紙芝居行事																		
7月	ビアガーデン&バーベキュー行事																		
8月	カフェ行事																		
9月	長寿を祝う会行事																		
10月	ハロウィン秋祭り行事																		
11月	焼き芋行事																		

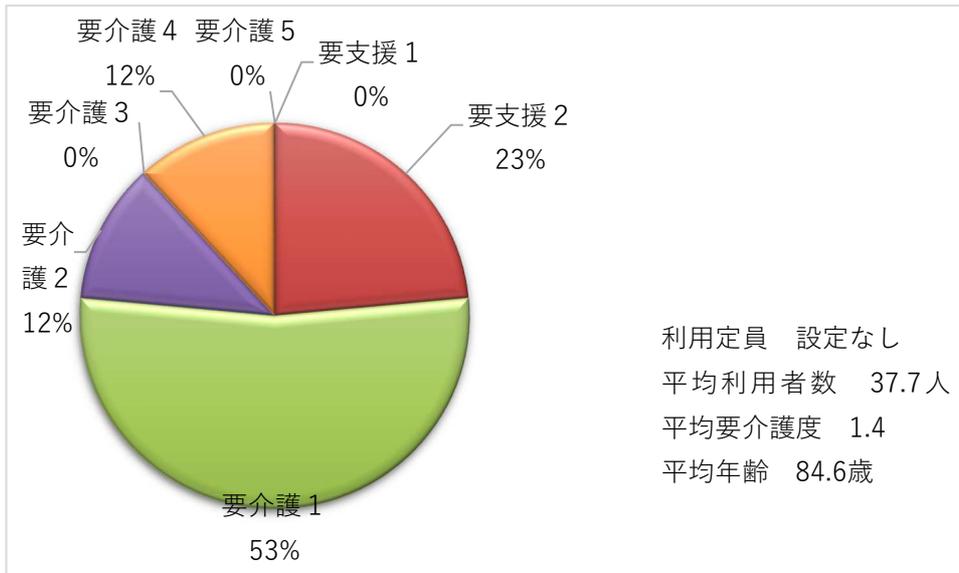
12月	クリスマス会行事、餅つき行事
1月	お雑煮調理レク、鍋行事
2月	節分行事 バレンタイン調理レク
3月	ひな祭り調理レク、春の運動会行事、桜の花見（車窓）行事



- (2) 医務
- ① 来苑時のバイタル測定を行い、利用中の様子についても注意深く、観察しました。
 - ② 体調不良者、特変者の対応について相談員等と協力し、速やかに対応することが出来ました。
- (3) リハビリ
- ① 状態に合わせた個別の計画を作成し、その方に必要なリハビリを実施し、継続することで定期的な運動機会や意欲の向上に繋がりました。
 - ② 機能訓練を実施している利用者の方々については3か月に1回の評価を行い、課題を明確化しました。
- (4) 運転
- ① 送迎は運転手、添乗員の2名体制で行いました。添乗員による補佐（乗降の介助や車内の安全確認、車両の後退時の誘導等）を行うことで安全に送迎を行うことが出来ました。
 - ② 乗車前後に車両の確認（点検）を必須として乗車中はシートベルトの着用や換気を実施しました。
 - ③ 送迎終了後は消毒、換気を実施し清掃を行いました。
- (5) 相談
- ① 営業日である月～土の利用人数を計画的に管理し、職員の出勤人数を勘案しながら利用数が偏らない様に対応しました。
 - ② 管理者が不在時も家族やケアマネへの連絡を迅速に行うように意識して取り組みました。
 - ③ 居宅サービス計画書に基づき、通所介護計画書・介護予防通所計画書を策定し、個々の状態変化があれば、ケアマネと連携して変更できるように取り組みました。
- (6) 通所型サービス
- ③ 要支援1・2の認定を受けた方を対象に自立支援を意識した対応を心がけました。

<p>Aの実施</p> <p>(7) 稼働率維持・向上に向けた取組み</p>	<p>① 定員が30名に変更になって最初の年度となり、年間の稼働率は77.3%（延利用数7168日）で目標は達成出来ませんでした。高い水準を維持することが出来ました。</p>
--	---

ヘルパーステーション



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 個別サービスの向上	<p>① 申し送りやヘルパー会議にて情報共有を行い、訪問前後には「職員専用の申し送りノート」の内容を確認し、変更があれば柔軟に対応しました。</p> <p>② 訪問介護計画書、手順書を作成し、サービスの標準化を図りました。</p> <p>③ サービス提供時に気づいた点、確認事項は速やかにケアマネに確認出来るようにしました。</p>
(2) 利用者との信頼関係の構築	<p>① 接遇マニュアルを遵守し、サービスに入ることが出来ました。</p> <p>② 利用者・家族からの相談等は職員間で共有し、ケアマネへ連絡し、相談しながら対応しました。</p> <p>③ 利用者宅では備品・道具を丁寧に取扱いました。</p> <p>④ 誕生日には個別にプレゼント（手作り）をすることが出来ました。</p>
(3) リスクマネジメント	<p>① 緊急時の対応を把握し、マニュアルを遵守した対応を実施しました。</p> <p>② サービス提供責任者と連絡が取れるような体制を作り、対応が速やかに行えようにしました。</p>
(4) 訪問型サービス	<p>① 要支援1・2の認定を受けた方を対象に富士見市の基準に基づいた訪問サービスを</p>

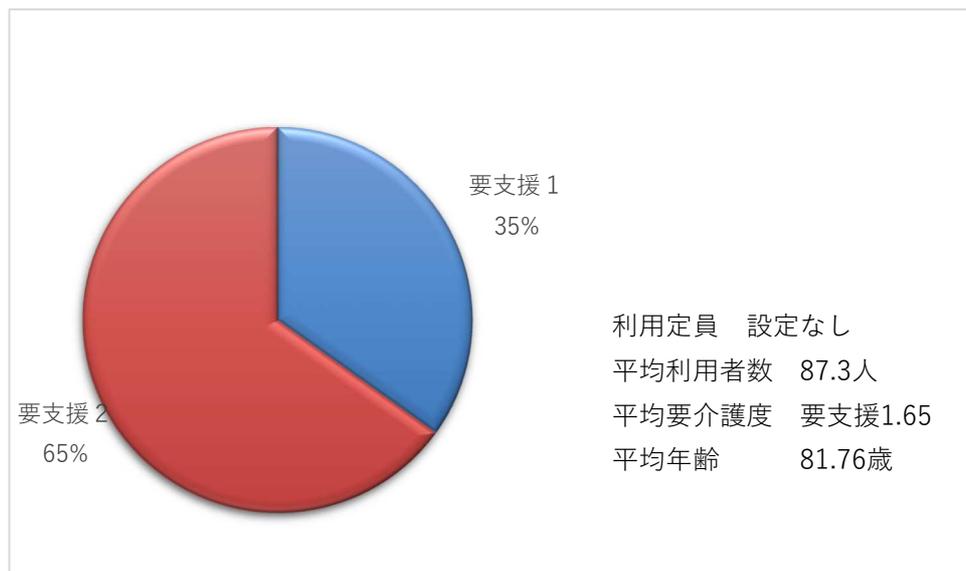
Aの実施	提供しました。
(5) 訪問数維持・向上に向けた取り組み	① 訪問回数の目標を月平均 330 回目指しましたが、年間通して月平均 256.7 回となり目標を達成することが出来ませんでした。

居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメントの標準化	① 富士見市にて行われた、実地指導の結果を踏まえ、業務を見直しました。 ② 毎月、支援会議を開催し、制度理解や情報共有の機会として活用。地域ケア会議においては毎回出席し、事例を提供する等で協力。また、外部研修にはオンライン研修を活用し、積極的に参加しました。 ③ 本人のニーズに合った地域資源が見つからず、課題が残りました。
(2) 医療・介護連携	① 医療と介護の連携シートの活用や MCS を活用して主治医との連絡を行いました。 ② 担当利用者が入院した際には医療機関に「入院時情報提供書」を提出し、病院との連携を継続。年間、入院時情報連携加算Ⅰを 12 件、入院時情報連携加算Ⅱを 5 件、算定しました。
(3) プラン作成率維持・向上に向けた取組み	① 年間のケアプラン作成率（要介護と要支援の平均）は 92%（前年度より 2.4%プラス）となり、目標を達成することが出来ました。 ② 年間の要介護の請求合計は 1514 件となり、前年度より 189 件増加となりました。また、新規 51 件の受入れを実施しました。

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み																					
(1) 総合的な相談支援	<p>① コロナ過で、訪問や地域での顔の見える関係づくりが思うようにできない状況が続いたため、相談先の周知と介護予防等を目的に『高齢者あんしん相談センターむさしの便り』を引続き配布(年3回 計6642部)しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>地域との連携</td> <td>勝瀬地区広報部会 11町会町会長</td> <td>2月 地域包括との連携についての学習会 3月 コロナ禍の活動についてアンケート(7町会回答)</td> </tr> <tr> <td>出前相談会</td> <td>3月</td> <td>南畑ふるさとまつり 中止</td> </tr> <tr> <td>高齢者見守りネットワーク</td> <td>3ヶ月に1回</td> <td>5月7月8月10月 地域事業所への協力依頼と再承諾 6件</td> </tr> <tr> <td>地域密着型運営推進会議</td> <td>要請に応じ 年2回出席</td> <td>デイサービスセンター南畑 デイサービス凜</td> </tr> <tr> <td>出前講座、介護予防講座</td> <td>要請に応じて実施</td> <td>4月 サロンひろば 解散終了 7月 サロンはるな 中止 10月 渡戸第3サロン 中止 ふじみ野ふれあいサロン 34名 11月 渡戸第2サロン 中止 勝瀬地区社協生活部会 22名 12月 羽沢1丁目サロン 中止</td> </tr> <tr> <td>健康講座</td> <td>南畑第1～5町会</td> <td>2月26日(土)・3月2日(水)・3月5日(土) 参加者 計68名</td> </tr> <tr> <td>民生委員との情報交換会</td> <td>7月 7月</td> <td>勝瀬地区民生委員協議会 水谷・南畑地区民生委員協議会</td> </tr> </table>	地域との連携	勝瀬地区広報部会 11町会町会長	2月 地域包括との連携についての学習会 3月 コロナ禍の活動についてアンケート(7町会回答)	出前相談会	3月	南畑ふるさとまつり 中止	高齢者見守りネットワーク	3ヶ月に1回	5月7月8月10月 地域事業所への協力依頼と再承諾 6件	地域密着型運営推進会議	要請に応じ 年2回出席	デイサービスセンター南畑 デイサービス凜	出前講座、介護予防講座	要請に応じて実施	4月 サロンひろば 解散終了 7月 サロンはるな 中止 10月 渡戸第3サロン 中止 ふじみ野ふれあいサロン 34名 11月 渡戸第2サロン 中止 勝瀬地区社協生活部会 22名 12月 羽沢1丁目サロン 中止	健康講座	南畑第1～5町会	2月26日(土)・3月2日(水)・3月5日(土) 参加者 計68名	民生委員との情報交換会	7月 7月	勝瀬地区民生委員協議会 水谷・南畑地区民生委員協議会
地域との連携	勝瀬地区広報部会 11町会町会長	2月 地域包括との連携についての学習会 3月 コロナ禍の活動についてアンケート(7町会回答)																				
出前相談会	3月	南畑ふるさとまつり 中止																				
高齢者見守りネットワーク	3ヶ月に1回	5月7月8月10月 地域事業所への協力依頼と再承諾 6件																				
地域密着型運営推進会議	要請に応じ 年2回出席	デイサービスセンター南畑 デイサービス凜																				
出前講座、介護予防講座	要請に応じて実施	4月 サロンひろば 解散終了 7月 サロンはるな 中止 10月 渡戸第3サロン 中止 ふじみ野ふれあいサロン 34名 11月 渡戸第2サロン 中止 勝瀬地区社協生活部会 22名 12月 羽沢1丁目サロン 中止																				
健康講座	南畑第1～5町会	2月26日(土)・3月2日(水)・3月5日(土) 参加者 計68名																				
民生委員との情報交換会	7月 7月	勝瀬地区民生委員協議会 水谷・南畑地区民生委員協議会																				

(2) 権利擁護、虐待の 早期発見の・防止	<p>①高齢者虐待の防止、支援成年後見制度等の利用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な周知啓発は行えませんでした。相談時に早期対応を行いました。また、いつでも対応できるように、研修を受講しました。 <p>②消費者被害等の防止・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等で啓発活動を行うと共に、高齢者あんしん相談センターむさしの便りにチラシを掲載配布しました。 ・地域ケア圏域会議にて、事例を元に市人権市民相談課や専門職、地域の方から意見をいただき、消費者被害の実態把握と二次被害防止について検討しました。 																			
(3) ケアマネジャー への支援	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 633 751 768">ケアマネ研修会</td> <td data-bbox="751 633 906 768">10月</td> <td data-bbox="906 633 1436 768">5圏域合同開催 「ケアプラン作成のポイント」 「自立支援給付の基礎と生活保護受給者支援」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 768 751 869">ケアマネサロン 「クラージュ」</td> <td data-bbox="751 768 906 869">偶数月 第3金曜</td> <td data-bbox="906 768 1436 869">5圏域輪番（4.6.10.12月） *テーマを決めて話しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 869 751 1012">富士見地区 ケアマネ連絡会</td> <td data-bbox="751 869 906 1012">9月</td> <td data-bbox="906 869 1436 1012">総会、研修 東入間医師会医療連携ガイドについて (ZOOM)</td> </tr> </table>	ケアマネ研修会	10月	5圏域合同開催 「ケアプラン作成のポイント」 「自立支援給付の基礎と生活保護受給者支援」	ケアマネサロン 「クラージュ」	偶数月 第3金曜	5圏域輪番（4.6.10.12月） *テーマを決めて話しました。	富士見地区 ケアマネ連絡会	9月	総会、研修 東入間医師会医療連携ガイドについて (ZOOM)										
ケアマネ研修会	10月	5圏域合同開催 「ケアプラン作成のポイント」 「自立支援給付の基礎と生活保護受給者支援」																		
ケアマネサロン 「クラージュ」	偶数月 第3金曜	5圏域輪番（4.6.10.12月） *テーマを決めて話しました。																		
富士見地区 ケアマネ連絡会	9月	総会、研修 東入間医師会医療連携ガイドについて (ZOOM)																		
(4) 介護予防ケアマ ネジメント	<p>① 実態把握は、訪問等の制限により月平均 15.9 件と目標に達しませんでした。予防プラン(自プラン)は、10月～月の目標値 50 件を超え、月平均 48.7 件となりました。</p>																			
(5) 医療・介護連携	<p>① 医療機関や介護事業所等関係者の連携強化に努めましたが、訪問診療や訪問サービスの危険性についても協議されました。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 1350 770 1473">医療と介護の連携の会 多職種研修(2市1町)</td> <td data-bbox="770 1350 890 1473">年2回</td> <td data-bbox="890 1350 1460 1473">6月「在宅生活におけるリハビリテーションとは」 10月「スピリチュアルケアとはなにか」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 1473 770 1585">医療と介護の連携の会 会議</td> <td data-bbox="770 1473 890 1585">全体会議 WT会議</td> <td data-bbox="890 1473 1460 1585">5月・11月・2月 6月・9月・12月・3月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 1585 770 1646">東入間医師会</td> <td data-bbox="770 1585 890 1646">年1～2回</td> <td data-bbox="890 1585 1460 1646">10月「後期高齢(ヨタヘロ)期の老い方・生き方」</td> </tr> </table>	医療と介護の連携の会 多職種研修(2市1町)	年2回	6月「在宅生活におけるリハビリテーションとは」 10月「スピリチュアルケアとはなにか」	医療と介護の連携の会 会議	全体会議 WT会議	5月・11月・2月 6月・9月・12月・3月	東入間医師会	年1～2回	10月「後期高齢(ヨタヘロ)期の老い方・生き方」										
医療と介護の連携の会 多職種研修(2市1町)	年2回	6月「在宅生活におけるリハビリテーションとは」 10月「スピリチュアルケアとはなにか」																		
医療と介護の連携の会 会議	全体会議 WT会議	5月・11月・2月 6月・9月・12月・3月																		
東入間医師会	年1～2回	10月「後期高齢(ヨタヘロ)期の老い方・生き方」																		
(6) その他	<p>① 地域ケア会議</p> <p>圏域会議では、消費者被害（屋根雨漏り修繕事例）、一人暮らし及び高齢者世帯の方の地域での見守り支援について検討しました。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 1832 659 1982" rowspan="2">地域ケア会議</td> <td data-bbox="659 1832 850 1933">センター開催</td> <td data-bbox="850 1832 1153 1888">地域ケア圏域会議</td> <td data-bbox="1153 1832 1361 1888">地域事例</td> <td data-bbox="1361 1832 1460 1888">2回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1933 850 1982"></td> <td data-bbox="850 1888 1153 1933">地域ケア個別会議</td> <td data-bbox="1153 1888 1361 1933">要介護プラン</td> <td data-bbox="1361 1888 1460 1933">3回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 1982 659 2024"></td> <td data-bbox="659 1982 850 2024">市開催</td> <td data-bbox="850 1982 1153 2024">介護予防支援ケア会議</td> <td data-bbox="1153 1982 1361 2024">要支援プラン</td> <td data-bbox="1361 1982 1460 2024">2回</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="451 2024 1361 2024"></td> <td data-bbox="1361 2024 1460 2024">年合計 7回</td> </tr> </table>	地域ケア会議	センター開催	地域ケア圏域会議	地域事例	2回		地域ケア個別会議	要介護プラン	3回		市開催	介護予防支援ケア会議	要支援プラン	2回					年合計 7回
地域ケア会議	センター開催		地域ケア圏域会議	地域事例	2回															
		地域ケア個別会議	要介護プラン	3回																
	市開催	介護予防支援ケア会議	要支援プラン	2回																
				年合計 7回																

② 認知症地域支援推進

項目	開催月	場所・対象	参加
認知症サポーター講座	6月	富士見高等学校 高校生	42名
	12月	渡戸3丁目集会所 住民	12名
	3月	鶴瀬公民館 市商工会・一般	19名
認知症サポーターフォローアップ講座	3月	鶴瀬公民館 市商工会・一般	中止
認知症相談	9月	オレンジダイヤル(電話)	0件
	随時	認知症ケア相談室	0件
オレンジカフェ「南畑いこいば」	奇数月	・南畑公民館(5月・11月)	
オレンジカフェ「渡戸3」	偶数月	・渡戸3丁目集会所(12月)	
認知症地域支援推進員会議	毎月	市、5包括の認知症地域支援推進員	
世界アルツハイマーデー活動	9月	〃 中止	

③ 生活支援体制整備事業

- ・コロナ禍のため南畑地区社協との連携協議の開催はできませんでした。
- ・生活支援体制整備事業の「おとなりフェス」2月(ZOOM)に参加しました。

④ 介護者教室実施・介護者サロンへの支援

項目	開催月	場所・対象	参加
介護者教室	11月 (介護の日)	ふじみ野交流センター・高齢者 「人生会議」日鼻医師	9名
介護者サロン「窓陽」	毎月第3金曜	ふじみ野交流センター	中止
ケアラー支援	3月	ZOOM&サテライト会場(ふじみ野交流センター)・介護支援者(窓陽スタッフ・ケアマネジャー・民生委員・ふれあいサロンスタッフ) 「ケアラー支援について」(県出前講座)	17名

⑤ 地域行事への参加・協力等

- ・南畑公民館便り編集企画会議、南畑環境美化活動に参加しました。



【介護者教室】「人生会議」日鼻医師



【認知症サポーター養成講座】富士見高等学校



【地域ケア圏域会議(ZOOM&サテライト会場)】



【高齢者あんしん相談センターむさしの便り】



配食サービス

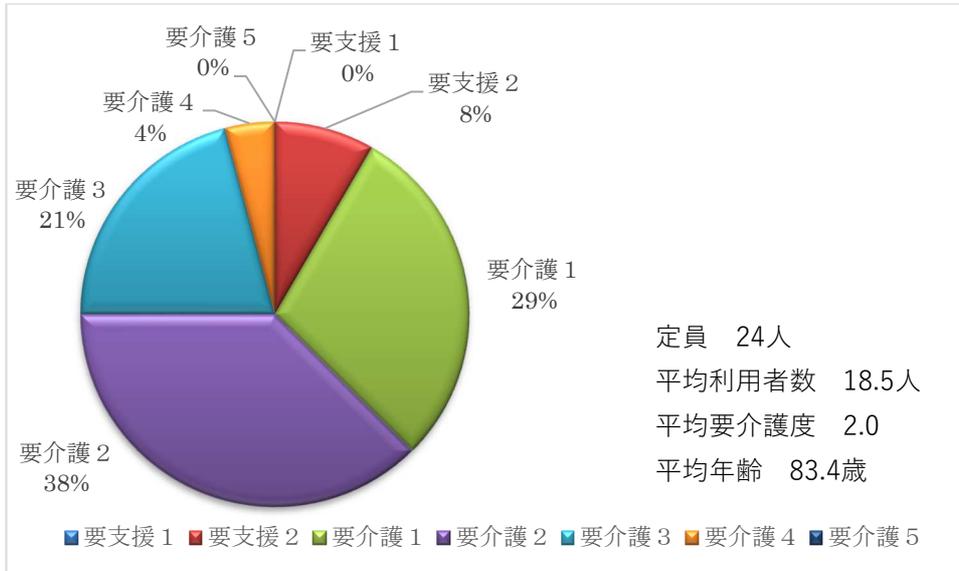
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 在宅生活を支える	① 年間の配食の実績は昼食 354 食（前年度と同数）、夕食は利用していた方が 5 名 施設入所等で終了となり、714 食（前年度より 690 食減）となりました。
(2) 配食事業の周知	① 居宅ケアマネへのアナウンスをはじめ、地域への周知活動を続けましたが、コロナ禍の影響もあり、希望者は増えませんでした。

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・業務の見直しを行い効率的に働ける環境を整えます。
- ・施設設備の故障に対して早めの対応を行います。
- ・在宅から入所まで事業間で連携を取りながら継続して支援していきます。

小規模多機能型居宅介護



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 通い	① 季節に合わせた食事レクや創作レクなど、ご利用者の能力を引き出す機会を提供しました。 ② 毎月の誕生日会などご利用者の希望を聞きながら個別支援を意識したサービスを提供しました。
(2) 訪問	① 体調不良時や緊急対応必要時など安否確認や複数回訪問をし、ご利用者の安心・安全を確保しました。 ② 訪問サービス手順書を作成し統一ケアを目指しましたが、各ご利用者に担当職員を配置するまでとなりました。
(3) 宿泊	① 毎週火曜日の定期宿泊のニーズを確保しました。 ② 臨時の宿泊希望がほぼなかったために夜勤シフトの作成はありませんでしたが、臨時の際は対応を行いました。
(4) その他	① 緊急時マニュアルを改訂しサービス中のリスクや緊急時に対応できる体制を整えました。

(5) 稼働率維持・向上
に向けた取組み

- ② 毎月のモニタリングで定期的にアセスメントを実施し、ご利用者のニーズや希望を聞き出しました。
- ① 新規利用者の受入を進め定員 24 名まで引き上げました。
- ② 新規利用希望に対応できるよう人員体制を整え、日勤帯は問題なくサービス提供できる状況となりました。
- ③ 上記取組みを実施し稼働率 90%を令和 3 年 9 月から維持しました。



体操レク

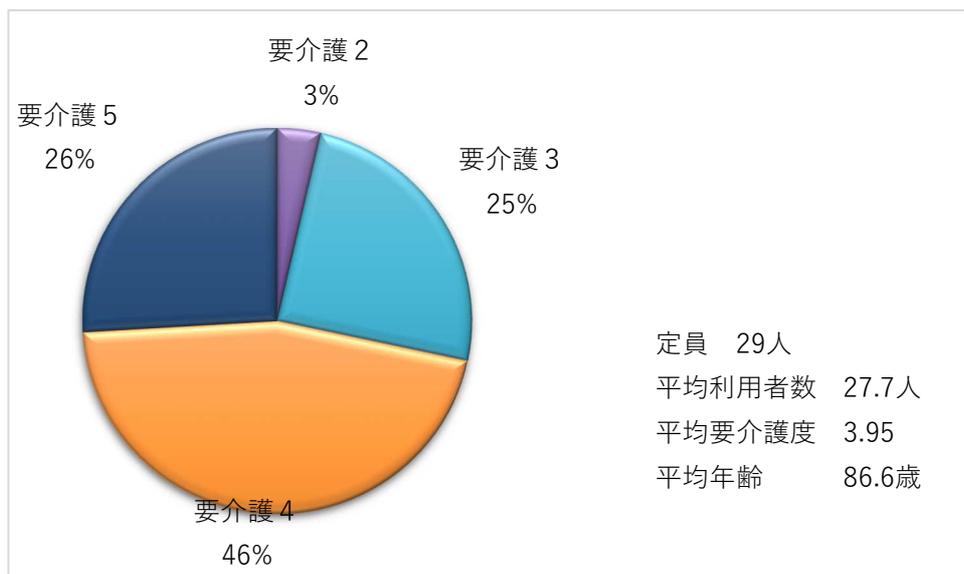


誕生日会



花見

地域密着型特別養護老人ホーム



介護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ユニットケア	① 毎月リーダー会議を開催し、ユニットケアを実現する上で課題となることについて話し合いを重ねることができました。 10月からはユニット担当職員を固定配置することができました。また、入居者の生活リズムに合わせた対応を行うために、勤務形態を増やしました。
(2) 人材育成	① ユニット固定配置により、今までよりも入職後のOJTがスムーズに行うことができました。指導担当者であるユニットリーダーを中心とし、限られた職員が指導を行うことができるようになったことにより、指導内容を共有することができました。
(3) 看取りケアの充実	① 看取りマニュアルの作成については実施できず、作成するための準備に留まっています。 ② マニュアルを使用している研修についても実施できなかったため、次年度の課題となりました。
(4) ICT及びIoT化の推進	① 「みまもりベッドセンサー」を3台導入しました。 ② データから読み取ることのできる入居者の生活リズム（睡眠時間・体動の有無・排尿間隔など）を使用し、トイレ誘導の時間や転倒のリスク管理の話し合いを行いました。 ③ ケア記録のタブレットを導入については、補助金の対象とはならなかったため、次年度に再度申請を行います。ケア記録の簡素化について、準備を進めました。
(5) 年間の催し	① 以下の催しを実施しました。

実施月	内容	予定日
4月	・お花見ツアー ・すいせんユニット行事 茹で野菜	桜の開花時期 4月27日(月)
5月	・菖蒲湯 ・ホームパーティー(入居者のみ) お寿司、ラーメン、唐揚げ、バーニ ャカウダー、フルーチェ ・こすもすユニット行事 若鮎作り	5月24日(月) 5月9日(日)
6月	・こすもすユニット行事 タカラジェンヌ行事、紫陽花ゼリ ー ・すいせんユニット行事 パンケーキ作り	6月21日(月) 6月29日(火)
7月	・すいせんユニット行事 アイス ・すいせんユニット行事 うな重出前 ・こすもすユニット行事 パフェ作り ・地区夏まつり→開催なし	7月13日(火) 7月23日(金) 7月22日(木)
8月	・ひまわりユニット行事 かき氷 ・こすもすユニット行事 アイス 第2回タカラジェンヌ行事	8月6日(火) 8月14日(土) 8月30日(月)
9月	地区敬老会→開催なし こすもすユニット行事 手作りちぎりパン	9月11日(土)
11月	・地域防災訓→中止 ・水谷文化祭→開催なし ・こすもすユニット行事 大きなプリン作り	11月中 11月25日(木)
12月	・冬至(ゆず湯) ・餅つき(入居者のみ) あんこ、きなこ、からみ ・ひまわりクリスマス会	12月第4週 12月16日(木) 12月24日(金)

	クリスマスケーキ作り ・こすもすクリスマス会 ノンアルコールカクテル、カラオケ ・すいせんユニット行事(送迎会) ちらし寿司、とんかつ、ポテトサラダ、ごぼう味噌ポタージュ	・12月20日(月) 12月7日(火)
1月	・新年会(入居者のみ) 獅子舞い、詩吟(入居者)、琴の演奏、お祝いの食事	1月12日(水)
2月	・節分 豆まき ・すいせんユニット行事(100歳の祝い) 鶏肉丸々醤油煮、ピラフ、ミネストローネ、温野菜	2月3日(木) 2月15日(火)
3月	ひなまつり	3月3日(木)

お誕生日祝いの実施

- ・今年度は感染症を考慮して施設内での祝いになりました。
- ・ご家族参加の行事については感染症の影響により入居者のみで実施しました。



看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の健康管理	① 毎日の検温とコミュニケーションをとることをすすめることにより早期発見と対応に努めました。 ② 介護職との情報交換を密に行い、入居者個々の健康状態の把握をしました。 ③ 介護職に対し疾患・症状に対するアドバイスを行い、適切なケアに繋がられるようにしました。また、介護職からの情報をもとに医療面からのアプローチを行うことができました。
(2) ご家族との関係づくり	① ご家族来苑時には医療面からの経過を報告しご家族と共に入居者を支えられるようにしました。
(3) 嘱託医師との関係強化と継続	① 回診時に日々の経過を報告し、体調不良時には適宜嘱託医と連絡を取り適切な医療へと繋げることが出来ました。

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 集団リハビリの実施	① 週2回の集団でのリハビリを実施しました。 ② 体操や音楽を流しての運動など楽しみながら自然と身体を動かすことできるリハビリを実施しました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 多職種連携	① 多職種間でコミュニケーションを図り、入居者の情報を共有し、対応しました。
(2) 入院者の病状確認	① 入院者への退院支援を速やかにするために、毎週水曜日に病院の看護師や相談員へ入院者の状況確認を行いました。
(3) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 看取りでの退所や転居等により年度内退所者の9名中6名が9月から12月の間に重なりました。空床の期間が増えたことにより稼働率が95.1%と目標を達成することはできませんでした。 ② 入院者等で空きベッドが出た際は、積極的に空床ショートステイの受け入れを実施しました。年末年始の急遽の受け入れも対応しました。 ③ 申込み者の増加を図るため、市内の居宅・包括事業所や老健宛てに申込みの案内を行いました。入所相談や施設見学も積極的に受け入れを行いました。

委員会

・サービス向上委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入浴について	<p>① 入浴設備の点検と物品の確認をすることができ、滑り止めシート・シャワーチェア一購入等、入浴に関する事項の検討を行うことができました。</p> <p>② 入居者の安心・安全な入浴方法を全職員で共有することができ、入浴での事故や大きな怪我等は防ぐことができました。</p> <p>③ 入浴事故防止研修を実施する機会を設けることは出来ませんでした。日頃から全職員で安心・安全な入浴方法を心掛けているので、大きな事故等なく安全に入浴介助ができました。</p>
(2) 食事について	<p>① 入居者の食事状況を日頃から観察している為、スムーズな食事提供をすることができました。また食事準備の段階で常食・刻み・ミキサー等、形態別に分けて準備することでよりスムーズにできました。</p> <p>② 毎食前と間食前に手指消毒を実施し、清潔保持に努めることができました。</p>
(3) 排泄介助の技術向上	<p>① 排泄介助の技術向上に向けて、ユニットリーダーへのパットの当て方・排泄介助の方法について改めて指導することができました。</p> <p>② またユニットリーダーがユニット職員へのパットの当て方・排泄介助の方法について定期的に指導する機会を作ることができ、職員一人ひとりの技術の向上に役立てることができました。</p> <p>③ 勤続年数が長い職員は白十字アドバイザーの研修に参加する機会を作ることができませんでしたが、新入職員は白十字アドバイザーの研修に参加する機会を作ることができました。</p>
(4) 排便コントロール	<p>① 様々な整腸作用のあるものを試行し下剤の見直しことができました。下剤に頼らず自然排便を目指すことはできませんでしたが、効果があった方もいたので引き続き見直しを行います。</p> <p>② 便失禁へ繋がらないように、医務と連携し排便コントロールができました。</p>
(5) 陰洗について	<p>① 白十字推奨の陰洗方法で介助の実施ができました。</p> <p>② 正しい陰洗方法で介助に入ることで、皮膚を清潔に保ち皮膚トラブル（褥瘡等）の予防に繋がる事を周知しました。</p>

・衛生管理委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症対策	<p>① 物品のサイズ調整を行い、常に一定量を確保しました。</p> <p>② 新型コロナ感染予防マニュアルを使用した研修及び訓練を全職員に行いました。不安点がある職員に対していつでも再研修を行える体制をとりました。</p> <p>③ 職員一人ひとりの感染予防の効果もあり、感染0を達成ができました。</p>

(2) 職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 非接触センサー活用により、職員の出勤時の検温を習慣化することができました。 ② IOT 活用により検温と記録を同時に行うことができました。 ③ 風邪症状でも発熱でも休める体制をとり対応しました。自宅待機になった職員の復帰後のメンタルケアの話し合いも行いました。
(3) リネン交換	<ul style="list-style-type: none"> ① 異常気象の温度差に順応した掛布団の調整を行いました。 ② 一度、発注が多くなってしまう調整ミスがありましたが、在庫が切れることなく発注することができました。

・事故発生防止委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 身体ケア、変化に 気付き対応する	<ul style="list-style-type: none"> ① 表皮剥離・あざ等の職員の介助による怪我について発生しやすい入居者や部位を調べ、どうしてできてしまったのかを確認し、移乗方法、車椅子上での表皮剥離、あざの起きやすい場所を確認し、職員全体での介助方法を見直す必要がある事が分かりました。 ② 入居者の ADL の変化に気付き、検討し早めの対応策を考え実施し対応することができました。車椅子上での前傾姿勢や、車椅子の移動時で介助方法の統一、車いすを変更するなどの対応ができました。
(2) 離床センサーを使用し入居者の生活リズムを把握する	<ul style="list-style-type: none"> ① みまもりベッドセンサーを使用し入居者の生活リズム睡眠状態の確認ができました。今後、全入居者に使用し生活リズムを把握していきます。 ② 生活リズムを把握し事故防止と個別ケアについては、機器の導入が下半期であったため、十分な活用についてはこれからとなっています。 今後は、臥床後のベッド上での体動の把握や、寝付くまでの時間、ヒヤリハットが起きそうな事時間帯を把握し、入居者全体の生活リズムを理解していきます。

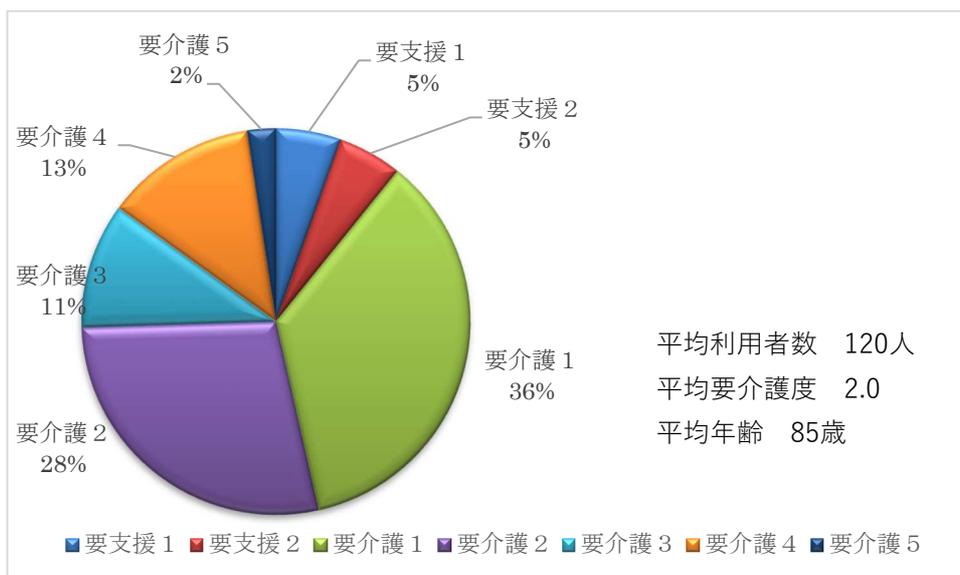
・身体拘束ゼロに向けての委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 身体拘束ゼロの 継続	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体拘束ゼロにむけて普段の介護の中で身体拘束にあたることはないか確認し、身体拘束に当たる言動や行動とみられることがある際は対応できました。今現在身体拘束ゼロの継続はできています。 ② 「座っててください」などの言葉の身体拘束の内容や質問があった際は会議内で話し合い対応方法を職員に周知しました。
(2) 身体拘束必要性 の検討	<ul style="list-style-type: none"> ① 今年度、身体拘束の必要性がある事象はありませんでした。エレベーターの呼出ボタンについては、離設の可能性のある方の対応として一時的にロックを行い、今後は状況を見ながら解除の検討を行っていきます。

・広報委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 広報の作成	① 本体と合同で年4回広報誌を作成しました。 ② イラストや写真のフレームをカラフルにするなど工夫しました。コロナ禍であっても施設の中の様子がわかるように入居者の生活や楽しむ様子が伝わることを意識して作成しました。

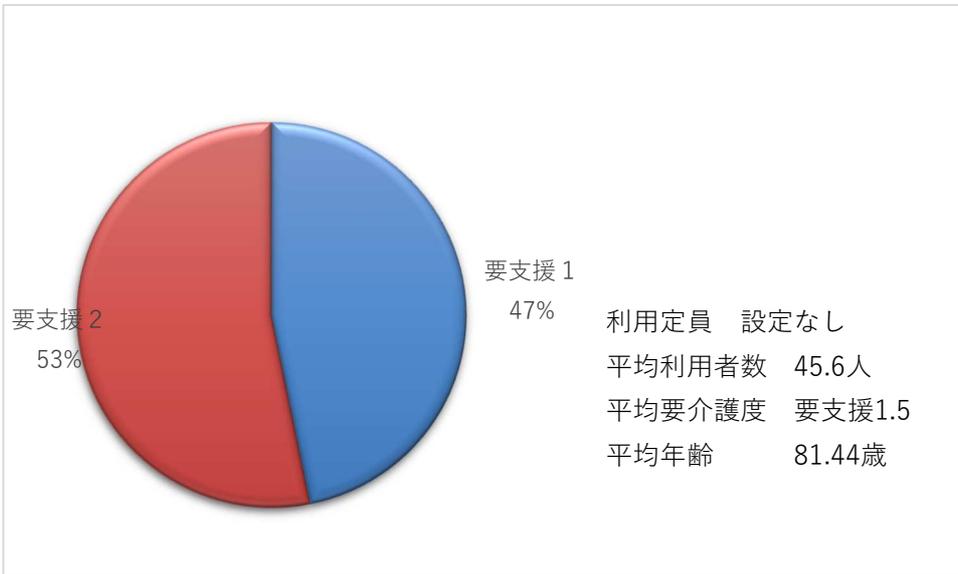
居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 医療・介護連携	① カンファレンスへの参加や情報共有を行いケアマネジメントを実施しました。 ② 病院・在宅医と連絡を取り身体的状況を把握し、利用者・家族の意向を伺いながらケアプラン作成をしました。
(2) ケアプラン作成	① 丁寧な傾聴を行い、利用者・家族のニーズを捉えケアマネジメント業務を行いました。 ② 常時事業所内で利用者の情報を共有する事で担当者不在時でも迅速・丁寧に対応しました。 ③ 包括を含めた多職種と連携し、困難ケースに対応しました。
(3) 人材育成	① 支援会議内で、ケアマネジメント業務の確認を行いマニュアル作成しました。 ② オンライン研修に参加し知識、業務の確認を行いました。
(4) 作成率維持・向上に向けた取組み	① 上記取組みを実施し稼働率103%。 ② 入院加算11回、退院・退所加算26回取得を行い収益に繋がりました。



地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、市役所に代わる地域の身近な相談窓口として機能できるように努めました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止	① 高齢者の権利擁護について速やかに対応しました。また権利の侵害がおきないように周知活動を実施しました。 ② 実態把握により問題の早期発見に努めました。
(3) ケアマネジャーへの支援	① 市内の地域包括支援センターと協力し、ケアマネサロン「クラージュ」を開催。またケアマネジャー向けの研修会を実施しました。 ② 開催にあたってはITを活用するなど、感染症の拡大防止に努めました。 ③ ケアマネジャーからの相談に対し、寄り添い支援しました。
(4) 介護予防ケアマ	① 自立支援と介護予防の観点から、在宅生活を支援していけるように介護予防ケアマ

<p>ネジメント</p>	<p>ネジメントを適切に行いました。</p> <p>② ケアマネジメントにより、介護度の重度化を防ぎました。</p> <p>③ 上記取り組みを実施し、月平均で 50 件の自プラン作成を目標に取り組み、年間平均件数が 45.6 件でした。</p>
<p>(5) 医療・介護連携</p>	<p>① 医師会主催の研修への積極的に参加・協力しました。また、ケアカフェなどの専門職同士関係づくりの場にも参加しネットワークを作りました。</p> <p>② 介護申請、入退院支援、ケアマネジャーの紹介など医療と介護の連携が取れるように協力関係を築きました。</p>
<p>(6) その他</p>	<p>① 地域ケア会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう、介護予防支援地域ケア会議、地域ケア個別会議に取り組みました。 ・地域での課題把握やネットワーク作りのために地域ケア圏域会議に取り組みました。 ・会議にあたり IT を活用するなど、感染症の拡大防止に努めました。 <p>② 認知症地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を患っても安心して慣れ親しんだ地域で生活できるよう、支援するとともに、地域での理解を促すための啓発活動を行いました。 ・地域に開かれた、現在の状況に合わせた認知症カフェの在り方を模索しました。 <p>③ 生活支援体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市や社会福祉協議会と協力し、2層協議体の取り組み活動に協力しました。 <p>④ 介護者教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者教室を開催し、介護者や介護に関心のある地域の方が、介護への理解を深め、また介護負担の軽減につながるように支援しました。 <p>⑤ 地域行事への参加・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとして地域のネットワークに積極的に参加していくとともに、法人職員として地域に根差した施設であるための活動に協力しました。



6 栄養課

総合目標及び課題

・安心安全、美味しい食事の提供

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 計測を確実に行う	① 美味しい食事が提供できるよう、3つの計測（量・温度・時間）と記録をしっかりと行い、一つ一つ確認しながら食事提供を行いました。
(2) 施設に係わる人々を豊かにする食事の提供	① 年間通して月2回の行事食を提供しました。通常とは異なる食事を提供し、利用者が楽しみ、豊かな食生活を送れるよう支援しました。 ② 令和3年度は地域の活動もほとんどなく地域行事に参加する機会がありませんでしたが、地域活動が再開された際には積極的に参加しています。
(3) 利用者の健康管理	① 栄養ケアマネジメントを行い、利用者の栄養状態が良好に保たれるように活動しました。

